

地形・地質

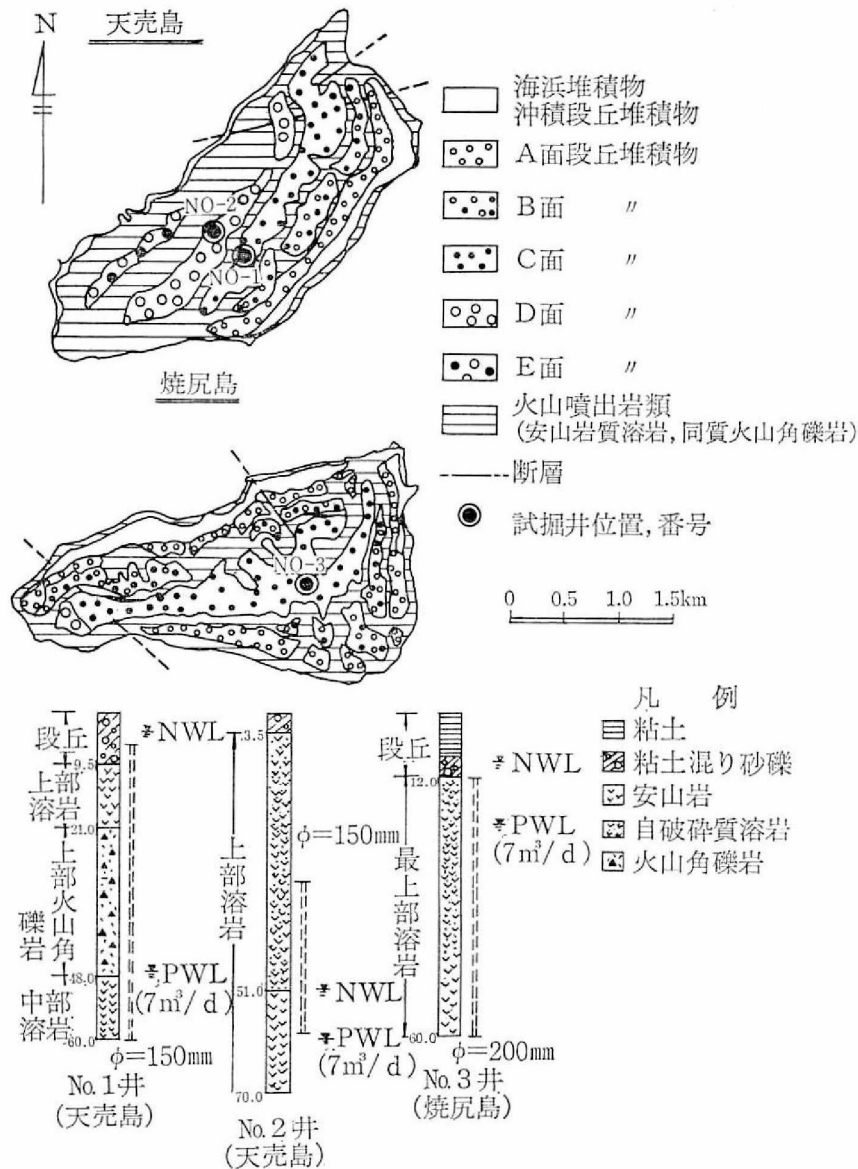
天売・焼尻両島は、北海道北西部羽幌町の北西約25kmに位置し、面積はともに約5km²です。海岸段丘の発達がよく、複数の段丘面が存在します。基盤は新第三紀の火山噴出岩類で、第四紀の段丘堆積物、沖積層などがこれを覆って分布します。

天売・焼尻島の地質層序表

時代	層序		地殻変動 火成活動
第四紀	完新世	沖積層	地盤上昇 傾動運動 岩脈貫入
		沖積層	
	更新世	洪積層	
		洪積層	
		洪積層	
		洪積層	
新第三紀	天売島噴出岩類	焼尻島噴出岩類	
		最上部溶岩	
		最上部火山角礫岩	
		上部溶岩	
		上部火山角礫岩	
		中部溶岩	
		中部火山角礫岩	
		下部溶岩	
		下部火山角礫岩	
		下部溶岩	
下部火山角礫岩			

地下水

第四紀の段丘堆積物は広く分布しますが、帯水層として多くを期待できません。両島の基盤を構成する第三紀火山噴出岩類の大部分は、溶岩あるいは固結度の高い火山碎屑岩で、地下水はこれらの岩の亀裂、空隙に裂か水の形で存在します。



天売・焼尻島の地質図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記のWebページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）